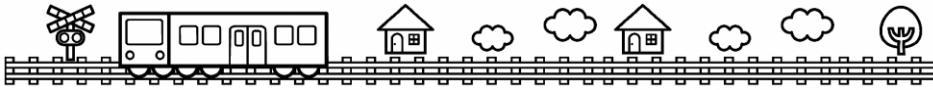


12月

尾久二だより

令和3年11月30日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



身近な自然との関わりから豊かな感性を育む

主任 種田 保子

幼稚園では、落ち葉や木の枝や木の実が宝物です。砂場でケーキを作って、いろいろな色や形の葉を見つけて飾りつけをしてパーティーを開いたり、お料理を作って、葉の色で味を変えて、ごちそうを作ったりして楽しんでいました。また、リース作りやどんぐりケーキ作りなどの造形活動を行い、自分のオリジナルの作品を作って満足している姿も見られました。私もどんぐりで「トトロ」を作りました。玄関ホールに飾っておくと、子供たちが早速見つけて「トトロだ!」「だれが作ったの?すごいねえ!」と話していました。まさか、子供たちに褒めてもらえるとは思わなかったのですが、とても嬉しかったのですが、もっと嬉しかったことは、その数日後、トトロの横に、なんと!別のトトロがいたことでした!「あれ?これはどうしたの!」と言うと、たまたまそばにいた、いるか組の子が「それ、私が作ったの。お友達を作ったのよ!」と話してくれました。予想もしなかったことに心が温かくなり、幸せな気持ちでいっぱいになりました。



また、今月は年少・年中組の親子フラワーアレンジ体験がありました。年少は自分の花瓶を、年中はかごを作り、自分のお気に入りの花を選んでアレンジしました。遊戯室はお花の香りですごくいい!そこにいるだけで、気持ちがウキウキしましたね。講師の先生からお花のことをたくさん教えていただき、保護者の方も「なるほど!」と思うことがたくさんあったと思います。親子で一緒にお花の匂いをかいだり触ってみたりして、一緒に心で感じ、発見や感動をしながら過ごした時間は、最高の時間だったと思います。子供たちの真剣な表情も、可愛かったですね。

2学期もあと少しとなりました。コロナ禍の生活も日常となりつつ中、保護者の皆様のご理解をいただきながら、可能な限り、子供たちにとって充実した園生活を送ることができたと思います。本当にありがとうございました。冬休みも体調に気を付けて、よいお年をお迎えください。



12月の保育のねらい



うさぎ組

- 遊びの中で、教師や友達の動きを見ながら、自分なりにイメージして動く楽しさを感じる。
- 教師や友達と一緒に、季節の行事や遊びを楽しむ。



りす組

- 友達と思いやイメージを出し合いながら、ルールのある遊びや好きな遊びを十分に楽しむ。
- 季節の変化に気付き、時期に応じた生活の仕方を身に付ける。



いるか組

- 自分の役割を意識しながら、友達と協力してやり遂げる達成感を味わう。
- チームで競い合う楽しさを味わいながら、十分に体を動かして遊ぶ。
- 季節の行事に親しむ。